

女性と女兒の夢輝く未来のために
尊い奉仕の輪をつなぐ

“ キャッチ！ SOS ” キャンペーン



子ども虐待防止

オレンジリボン運動



SI 青森 2025.11.15



青森市男女共同参画プラザ「カダール」にて、NPO法人あおもり男女共同参画をすすめる会主催のカラフルリボンイベント2025に参加しました。パープルリボン、ピンクリボン、他に色によって様々な意味を持つ「アウェアネス」リボンの色に、込められた意味を理解しカラフルリボンラリーやワークショップをとおして楽しく学ぶイベントです。クラブではオレンジリボンブースを担当。ドライのオレンジとリボンをあしらったリース作りを40名のお客様に制作していただきました。女性だけではなく家族連れも楽しんでいました。啓発チラシとティッシュを配布し、児童虐待のない社会の推進とオレンジリボンへの理解をお願いしました。

SI 八戸 2025.10.16



SI八戸は、10月16日開催の10月業務例会開始前に、キャッチ！SOSキャンペーン「国際ガールズデー」活動の一環として、ボードを掲げて集合写真を撮りました。特に今年は全員がオレンジリボンを胸に掲げ、児童虐待防止呼びかけに参加しました。

SI 石狩サン・ファン 2025.11.14



石巻市中央公民館で開催された放課後こども教室にお伺いして、オレンジリボンキャンペーンの広報活動を行いました。当クラブからは臼井会長はじめ会員8名が参加し、教室に参加した保護者の皆さんに啓蒙用のチラシを配布しました。強風の中でしたが、保護者の皆さんと温かな交流を図りました。

SI 釧路アミティ 2025.10.28/11.25



釧路新聞 2025年(令和7年)11月6日

子供の虐待現状理解
釧路アミティ卓話
国際ソロプチミスト釧路アミティ(金安潤子会長)は10月28日、ANAクラウンプラザホテル釧路で10月例会を行い、釧路市子ども支援課の奥山保美課長の卓話で、子供の虐待の現状について理解を深めた。
講師の奥山課長は、釧路市における虐待の実情や支援センターの取り組み、相談体制について説



釧路アミティの例会で卓話をする奥山課長(釧路アミティ提供)

明。「オレンジリボン運動」を通して地域全体で子供を守り、虐待のない社会を目指すことの大切さを強調した。
卓話を聞いた会員からは「子供たちの健やかな成長を支えるために、私たちができることを改めて考える機会になりました」との声が上がっていました。(伊東義晃)

10月例会で、釧路市役所子ども支援課の奥山保美氏を講師に迎え、「子ども虐待防止と釧路市の現状」についてご講話を頂き、釧路市の子ども虐待の実情や支援センターの取り組み、相談体制について詳しく学ぶことができました。また「オレンジリボン運動」を通じて、地域全体で子どもを守り、虐待のない社会を目指す重要性を再認識しました。11月例会では、会員がオレンジリボンをつけて出席し、委員会作成の資料を通じて理解を深めました。子どもたちの健やかな成長を支えるため、私たち一人ひとりができることを考える貴重な機会となりました。

SI 盛岡 2025.11.3



11月3日（日）、盛岡駅前広場にて「オレンジリボン児童虐待防止推進キャンペーン」を実施いたしました。啓発チラシとウェットティッシュ（オレンジリボンサポートグッズ）を配布いたしました。盛岡市チャイルドラインいわての方にも参加いただき交流を深めることもできました。初めての試みでしたが、市民の皆様にお届けすることができ、今後も積極的に活動していきたいと思います。
※ウェットティッシュ100部

SI ルンベル旭川 2025.11.22



旭川市民文化会館3階大会議室で行われた「児童虐待防止講演会」に会長他3名で出席。11月の例会で袋詰め作業を行ったオレンジリボンを配布していただきました。旭川育児院の多田院長も「地域の社会的養育を支える専門的拠点を目指して」というテーマで旭川育児院の取り組みについてご講演されました。

SI 仙台－青葉 2025.11.27

SI 仙台・青葉

2025 年 11 月 27 日



児童相談所虐待対応ダイヤル

オレンジリボン活動運動の一環で、「仙台市児童相談所長」大久忠氏をお迎えして仙台市の現状、 1. 児童相談所の業務 2. 児童虐待について 3. 児童虐待の防止のために 4. 一時保護所の生活についてと内容を細かく説明していただきました。現在仙台市の施設には幼児含め30名の子供達が生活しているそうです。そこに関わる職員がおおよそ180名と言う人数にも驚きましたが、様々な事情で相談所での生活を余儀なくされる子供達が増えていることも事実です。昨今隣人でも他人のことに口を出す、助言すること自体が難しい時代ですが、問題が深刻化する前に早期発見、早期対応が大事であることを今一度考えさせられました。

SI 天童 2025.11.16



11月16日（日）鍋合戦会場の入口にて、女性に対する暴力撤廃の国際デー、会員6名、ピンクジャンパーを着て、旗とプラカードを持ち、ポケットティッシュ300個配布して広報活動しました。
その時に、子どもの虐待をなくそうのチラシを一緒に配りました。

SI 苫小牧 2025.11.7



苫小牧市役所庁舎中央ロビーにて行っております、子ども虐待防止のシンボルマーク『オレンジリボン』を広め、子ども虐待をなくすことを呼びかける啓発活動に7人で参加させていただきました。全ての子どもたちが、あたたかい家庭の中で愛情豊かに育てられるようにとの願いを込めて、「めくもりの木」に沢山の实（オレンジリボン）を貼り付けてまいりました。子ども虐待のない社会を願う皆さんのお気持ちを一つにすることで子ども虐待のない社会を目指し続けてまいります。

SI 横手 2025.7.19



児童虐待防止活動として7月19日（土）に全国線香花火大会会場にて
会長含む8名で「児童虐待防止うちわ」を720枚配布いたしました。
好天に恵まれ、多くの親子連れの方々に直接お渡しする事ができました。